

神戸のディテール

Detail of KOBE 〈75〉

石阪 春生

写真 / 杉尾友士郎







表情生き生き、毛皮。

中央写真は、ダイドミンクブルゾン
(リーパシブル)
& ダークミンクブルゾン

11月10日～18日 Bennie original毛皮展示会

お気軽にローンをご利用ください。ボーナス先取りでご予約を承ります。

■ベニーワンポイントアドバイス〈着こなしについて〉

さり気なく着ることがなにより、鏡で全身をバランスチェックしてください。胸をはって姿勢よく着こなすのが一番大切なことです。

最高の品質と信用を誇る毛皮専門店
ニ一毛皮店

神戸市葺合区御幸通 8 神戸国際会館 1 F
☎078-221-3327

Stylist/Chie Oshima Photo/Y. Sugio

Most Beautiful Quality Life



創業明治十六年

柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL(078)341-0693

大阪・高麗橋2丁目 TEL(06) 231-2106

いま神戸・元町に

エレガンスの新風。

さりげなく光る。

それが、元町のファッション・スピリット。
パルパローレは

鮮やかな主張をもつ、グラッド・クオリティな店が31。
プレザボルデ、ファッション・ングズ、ラウレン、味の老舗など。

優雅なときめきを秘めた店々が、その個性を競いあいます。
自分だけのウエイ・オウ・ライフをたいせつにする。

真に洗練された人々——ネオ・モトマチ族。
パルパローレは

ネオ・モトマチ族と呼びかきあわしい
あなたのために

いま、熟成をとけるのです。

●婦人紳士服飾

ファッションサンバード

GENUINE ORNAMENT 館

オウクスフォード スポーツ

ブティック アド

婦人服飾 PAL エセル

ジョルジュ レシユ

紳士服飾 ルックライカ

MASUYA エルモサ

クリスチャン オギエール

クリスチャン デイオール ブティック

MASUYA カミエ

パール・リネア フルイ

MASUYA マーベラス

FUR & LEATHER ヘア

ラブ ブティック

婦人服飾 ヒアジエ

MASUYA ストワ

MASUYA オーダーサロン

●婦人靴

横浜元町 MIRIAM

●宝飾・雑貨

ドラッグ ココ山岡

宝飾 クレサンベル

タオロ ショップ ホットマン

ハンドラフト

●飲食店

ROO の店

レザラフト TOMBOY

ハナワグレル

サンドイ

スバタチ 専門店 東宝 壁の穴

飲食 中国料理 青峰

観音屋 珈琲店

うしろ茶屋 相生

ネオ・モトマチ族のために

熟成のエレガンス界わい
パルパローレ

11/2 (金) am 11:00 OPEN!

元町三番街
パルパローレ





KOBECCE
ETRANGER (フランス)

2

Erica Mathonnet

マロンクーヘン まろやかに新発売

新発売のマロンクーヘンは甘さをおさえたフワフワッの新栗の香り。清純なエリカの雰囲気にとったりのお菓子です。来年はアメリカの大学に入学の彼女ですが、まだまだケーキが似合うお年頃です。

お菓子の  **コトブキ**

GENICULINAW
KOTOBUKI

本 社 〒650 神戸市生田区北長狭通1丁目19番地
☎(078)391-8681(代)

PHOTO/Y.SUGIO

協力/ブティック魔女 うろこの家

素敵な出会い—神戸のエスプリ

'79 LIZA WINTER COLLECTION



宝塚バウホールにて

時の流れに心をとめて…私の交響楽

未完の恋愛譜を奏でたシヨパンの心のように
華やかな喝采のあとに残る微かな旋律は私を冬の詩情へ誘う。

暮らしにエスプリを求める人の<リザ・サロン>
素敵なあなたに冬の神戸ファッションをお届けします。

コンサート、観劇など大人のファッションを
楽しむ機会が多い頃。
TPOに合わせてエレガンスな冬を
楽しみたいですね。

衣裳提供 ミュージックフェアに南田洋子さん着用
南田洋子さん(神戸本店にて)



DOLCE

PRESENTED BY LIZA

ドルチェは、ロマンを求めつづける
男性のための豊かな日常着。阪急ファイブ5階
ドルチェ・サロンに取り揃っています。



リザはファッションを通して豊かな生活を考えます

LIZA

●神戸本店

神戸市生田区三宮町1-17-4センタープラザ3階/〒650

電話078(391)6806

掲載商品のお問い合わせは神戸本店まで

●お近くの<リザ・サロン>で神戸ファッションをお楽しみください＝大丸京都店1階・2階、そごう大阪店1階・3階、阪急ファイブ地下1階、
大阪ナンバCITY、そごう神戸店2階、大丸神戸店2階、大丸新長田店1階、センタープラザ1階、サービス提携店 梅田かわい
●全国リザ・サロンご案内＝札幌・仙台・水戸・千葉・東京・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・北九州・大分・熊本・鹿児島

貴女も「リザ・ファッション」サークルにご入会下さいませんか。

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です

11月目次 1979・No.223

表紙／小磯良平

セカンドカバー／僕の見た神戸(11)／西村 功

- 9 神戸っ子'79／竹田恵美子／善竹孝夫
13 ある集い／大和菜 蘭の会
15 コウベスナップ
16 イメージの神戸(32)／中辻悦子
18 神戸のディテール(75)／石阪春生／カメラ・杉尾友士郎
29 わたしの意見／陳 徳仁
31 随想／西村みどり／荊木恵美／中村 隆／カット・伊藤悦子
34 ある集いその足あと／大和三千世
36 連載エッセイ・私のひろいもの(11)／竹中 郁
38 甲南女子大学と神戸(2)／鯉坂二夫
40 ずっこの年表(6)／春木一夫／カット・たかはしもう
42 キャンペーン・国際文化都市神戸を考える
日本を代表する博覧会ポートピア'81
三宅芳郎／柚本敏馬／茂藤義定
48 ポートアイランド情報・5
50 経済ポケットジャーナル
52 旅行アサヒ創刊・全国のタウン誌が結集して
55 地域文化論(3)／福岡市立歴史資料館／水谷頼介
林屋克三郎／大橋一範／金子健樹／半田宣雄／小泉康夫
56 特集／神戸の町角
文・三枝和子／安水穂和／山口光男／桜井利枝／林田重五郎／山田公平／
岡田美代／灰谷健次郎 絵・松本宏／松岡寛一／小松益喜／小西保文
／鶴居 玲／高崎研一郎／石阪春生／貝原六一
76 KOBE FASHION SPOT
82 NEUE MODE MÄRCHEN・23／鶴原順子
102 第二回市長杯争奪美術家野球大会熱戦譜
113 神戸の催し物ご案内(11月)
114 動物園飼育日記(188)／亀井一成
118 六甲山100コース 25 鈴蘭台から修法ヶ原／菖蒲大悦
26 十文字山／永楽孝一
123 ノコちゃんの華麗なる食べある記(11)／小山乃里子
126 神戸を福祉の町に(71)／橋本 明
129 神戸の集いから
130 ファッション講座(11)／岡田 淳
132 ファッションレポート／クロス・清水俊夫
137 K・F・Sニュース
138 私の映画手帖(23)／淀川長治
140 女体百景(87)／二人妻／細川 董
142 ぴっといん
145 神戸百店会だより
146 ポケットジャーナル
150 連載ルポ・知らない人の神戸・5「有馬から」
蒼 竜一／カメラ・緒方しげを
154 小説 施設の月／鄭 承博／絵・吉見敏治
159 トーク&トーク・トラベルコーナー
176 再びアルファベットアベニューの「F」／新井 満・石阪春生
178 海 船 港／神戸・大津友好の船乗船記／橋本 明

カメラ・米田定蔵／藤原保之／橋本英男／後藤 孝／速水 亨

目次作品／元永定正

●祝 トアロード改装完成

グリーンベルトを
ファッションの風が吹く



スギヤ本店

婦人服地とおしゃれ洋品

スギヤ

本店 / 神戸トアロード
☎078・331・3436

| | | | | |
|-------|------------|----------|----|----------------|
| 阪急神戸店 | 阪急百貨店 | 神戸支店 | 内 | 電話078(321)3521 |
| 六甲店 | 阪急六甲駅構内 | ファミリーストア | 内 | 電話078(871)2733 |
| 屋川店 | 阪急屋川駅構内 | ファミリーストア | 内 | 電話0797(31)8193 |
| 芦屋店 | 阪急宝塚南口駅構内 | ファミリーストア | 内 | 電話0797(73)1244 |
| 塚田店 | 阪急宝塚南口駅構内 | ファミリーストア | 内 | 電話06(372)4877 |
| 宝梅店 | 阪急宝塚南口駅構内 | ファミリーストア | 内 | 電話06(245)1316 |
| 心斎橋店 | 阪急心斎橋筋1-45 | パルコ3階 | 内 | 電話06(213)8440 |
| 戎町店 | 阪急心斎橋筋1-45 | パルコ3階 | 内 | 電話0775(25)5405 |
| 大津店 | 阪急大津南口駅構内 | ファミリーストア | 内 | 電話03(987)0567 |
| 豊島店 | 阪急豊島南口駅構内 | ファミリーストア | 内 | 電話0286(36)5230 |
| 池袋店 | 阪急池袋南口駅構内 | ファミリーストア | 内 | |
| 武蔵野店 | 阪急武蔵野南口駅構内 | ファミリーストア | 内 | |
| 西武百貨店 | 西武百貨店 | 都宮店 | 2階 | |

LADIES' WEAR KORE - USAKA - TOKYO



SUGIYA

本店 078-331-3436 神戸店 078-871-2733 宝塚店 0797-31-8193 心斎橋店 06-245-1316 大津店 0775-25-5405 池袋店 03-987-0567 武蔵野店 0286-36-5230

風が冷たくなると、ファッションが燃えてくる。



トータルコーディネートファッション

●リザ・サロン

アクセサリ内外雑貨

●ルイ・ミッシェル

COLLEGE SHOP

●CABIN

バリ・ナウファッション

●フランス・アンドルヴィ

バリ・ナウファッション

●ジョージ・レッシュ

東京銀座・婦人靴

●ダイアナ

舶来婦人靴専門店

●Pia

ヤング&アダルトファッション

●ルベール

ヤングアダルトファッション

●ランプ

ファッションバッグ・アクセサリ

●美呂

原宿・婦人服

●CAN

銀座・婦人服

●ゲルラン

婦人服飾

●東京屋

新宿・レディスファッション

●高野

おしゃれな靴の店

●BONフカヤ

コンテンポラリーファッション

●ザ・コレクション

宝飾・ビジュテリ

●ココ山岡

東京キンザ・レディスファッション

●三愛

FASHION
PARK

神戸・三宮

さんプラザ・センタープラザ

3F

☆私の意見

日中友好にも 役立てば

陳 徳 仁

△神戸中華総商會々長▽



——この度「神戸華僑歴史博物館」のオープンとなりましたが、たいへんに大きな計画ですね。

陳 二十年前前から華僑の歴史を本にまとめようとして資料を集めていたのですが、神戸中華総商會ビルの建設によって、過去百十二年間の華僑の歴史を展示することにしたのです。この神戸中華総商會ビルの建つ生田区海岸通3丁目33番地というのは、華僑が神戸に来て貿易を開いた中心地として非常に栄えたところで、その二階を歴史博物館とするのです。

——展示内容はどのように？

陳 今まで収集してきた資料の展示のほかに、華僑が日本に来て、実際に日常生活に使っていたものも並べてヴァラエティに富むようにします。華僑が使っていた日常品ということは神戸市民が使っていたものでもあるわけですね。他に社会に貢献したり、神戸で活躍したりした華僑たちや、兵庫県や神戸市の発展とともに神戸の華僑が現在あるという考えから、歴代の知事や市長、神戸商工会議所会頭、財界、政界の人たちの写真も飾ったりします。また、中国と日本のことを書いた書物も全部買い集めたいと思っています。ただ今ある資料も、全部展示できないくらいの量で、効果的な展示の方法もむずかしいですね。現在は神戸が主体となった資料ですが、将来は全日本の華僑の資料、さらに世界の華僑の資料を集めて、歴史博物館の名に恥じないようにして、五十年、百年、二百年と続く組織にもっていきたいですね。そのためにも参観していただいた人から、さらに資料を提供していただければと期待しているのです。

——内容のあるものに育って欲しいですね。

陳 相当意欲を出しているのですが、やはり資金が要りますね。資金集めにも苦労しています。建物の建設費はともかく、博物館を維持していくにもお金がかかるため展示する内容によっては入場料をいただくこともあるかもしれません。この博物館が神戸の文化のために役立ち、中日友好のために貢献できればうれしいですね。



ビジネスに、ショッピングに

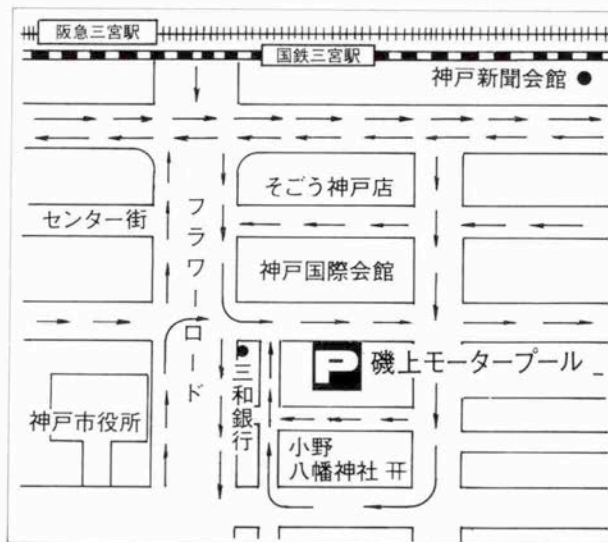
三宮で一番便利な

自走式立体モータープールです



- 収容台数 300台
- 月 極 駐 車 可
- 年 中 無 休

(8:00AM~11:00PM)



磯上モータープール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873



随 想



パリお菓子修業
あれこれ

西村みどり

△料理研究家▽

パリのコルドンブルーといえは世界中にその名を知られる、かどうかは知らないけれど、日本では最近雑誌などにも紹介されたりしかなり有名になっているし、私にとってはひとつの憧れの料理学校だったので。

ところが、エッフェル塔のそばにある、そのコルドンブルーに行ってみると、日本で想像していたとは大違い。ごくふつうのアパルトマンの一階にまさに廂を借りてといった感じで、実習用の部屋が二つとシェフがデモンストレーションをする為の部屋がひとつ、それに簡単な受付があるだけ、学生数も料理お菓子クラスを合わせて四十五人程という、小じんまりした学校なのです。そこに、フランス料理或いはお菓子を学びにきている学生はすべて外国人、そしてやはり、アメリカ人と日本人が一番のお得意さんのようです。私が登録していたお菓子のクラスも、アメリカ人と日本人が三人ずつとメキシコ、スペイン、タイからそれぞれひとりとずつというメン

パーでした。その九人が、片言のフランス語や流暢なフランス語、そしてフランス人のシェフの片言の英語なども混じえて実習するわけでした。

実習では各自がひとつずつお菓子を作るのですが、まず道具の使い合いから始まります。器具はもちろん人数分揃っているはずなのですが、必ずしも所定の場所においてはいないことと、自分で探さずに隣りの人で済まそうとする人がいたりすることが原因のようです。使いかけの泡立器がいつの間にかなくなっているなどはよくちゅうで、初めのうちこそびっくりしましたが、そのうちこちらにも負けずに手近にあるものはさつさと使ったりして……。

それにしても、焼き上がった自分のタルトがなくなっていて、かなり出来栄えのよくないのが最後、にひとつ残っていたのには啞然としました。シェフの言によればオープンから出したお菓子をめぐって、「それは私のだ!」「いいえ私の!」という喧嘩が起ることもあるそうで、必らずオープンのどこに入れたかを覚えておいて、焼き上がったら、すばやく自分の箱に入れてしまうことが肝要なようです。

私達にとってはびっくりするのですが、器用なくせに「きれい



先生がおいしいそうなスフレを焼き上げました。

に出来たね」と賞められた時、すつと嬉しい表情がなかなか出来ない日本人というのも、他の外国人にとつては不思議な存在かもしれない。色々な国の人が集まってそこで皆同じお菓子を作るわけですから、やはりそれぞれのお国ぶりともいうべきものが自然に表われて、それがまたおもしろいわけです。

それにしても、実に楽しそうに作り、自分でほんとうにおいしいようにたつぷりと試食する、フランス人のシェフの態度にあれでこそおいしいお菓子が出来るのだなあと思っただけです。

□来年1月より鴨子ヶ原の自宅にて小人數グループで「お菓子の教室」を開講予定。お問合せは電話843-0125 西村まで

ストレートに

生きたい

荆木 恵美

△フリーライターV



新聞の紙面に参加することがあるとしたら、交通事故にあう時ぐらいだろうと信じてた。それなのに、ものの弾みで、毎週映画のことを書いて、それが新聞に連載される不思議となった。

書くことは、苦手だった。小学校の作文でもABCというなら、間違いないCのランクであった。文学少女でもなかったし、知識の引き出しも、筆法が湧き出てくる泉も、持ち合わせていない。世の中に、書く人と読む人がいるとしたら、少なくとも私は、書く人タイプのかけらでもなかった。書くことなんて大したことじゃないと人はいうけど、私にとつては、書くことはひどくおこがましいことであり、冴えないペンをなめなめ原稿用紙に向かう度に、我ながら恥じ入っている。そんな、知らぬが仏の入口で、感じることもあるとすれば、それは思っていることを文章にするのは本当に難しいなあ——である。カッコ良く書こうと構えてみてもバツ。読んで下さる側に媚びようとしてみてもバツ。だからといって、どう書けば良いのか……。結局、心のいちばん奥

で思っていることは、どうしても文章に出来ない部分である、という気がしている。

映画は好きだった。というより映画館が好きだった。暗い映画館の中で、一人ポツソリ座っていると、何故か心が落ちついた。それも、華やかな封切館ではなく、少し古い映画の二、三本立てで、客席がまばらで、しょんぼりした映画館が好きだった。そんな映画館を、やさしいと思った。なんで映画館がやさしいのか、へんかもしれないけど、そう思った。そんなしょんぼりやさしい映画館も、次から次へと消えてしまう。時代が時代だから仕方ないと思うが、淋しい。私の中で、何かが一つ終わって行くのを、感じてしまうから。ちよつと前、東映の「飢食」という映画を見に行ったら、主演の内田裕也が、ものつすごく真剣な顔つきで「俺は今、最高に熱いんだぜ」と情熱的なセリフを口にしたら、若い客席が、ブハハハと笑った。カッコ良く決まる筈のセリフが、ともすれば笑い飛ばされてしまう。ストリート過ぎるセリフは、近頃の若者達には愛されないうだ。ヒーロー然としたヒーローでは、ヒーローにならないのである。そして、異常なまでに目の肥えた、感性の研ぎ澄まされた今の映画ファンを満足させるには

一筋縄では行かない。乾いた客席を熱くさせる映画作りは、これから先も、増々ナゾナゾの難問となっていくのかもしれない。

だが、しかし、こういう時代にこそ、世間のブハハハの笑い声を、気にせずストリートに熱く燃えて生きて行きたい、と思っ

ているのですが……。

〔神戸新聞・毎週月曜日の夕刊に「私の映画手帳」を連載中。〕

「輪のまつり」

のこと

中村 隆

▲詩人・「輪の会」代表▼



詩誌「輪」五十号を記念して、

来る十二月二日（日）、農業会館大ホールで、「輪のまつり」を催す。なにを祭るのか、未だ企画中だが、早くから会場を予約した以上、「輪」らしく愉快な、破目を外したパーティにしたいと思っ

太郎さんの「粒」は七十号近くにもなっている

もなっている。余り自慢するほどの事件ではない。しかも、二十五年で五十号ということは、年に二冊という勘定だから、牛歩もいところだろう。「輪」二十七号を出した時に、創刊十五年を記念して第一回の「輪のまつり」を須磨の藤田ガーデンで催した。五月末のいい季節であったのに、あいにくの雨で折角のガーデン・パーティはお流れ、慌てて室内に会場を移したものの、はじめの企画の半分は削りとられるという、「輪」らしき祭りであった。それでも出席者百二十名、スピーチや、ウエスタン・バンド、スパニッシュ・バレエ、「輪」同人によるアトラクションなど、盛りだくさんのにぎにぎしいパーティであった。ただ詩人はソロバンには弱く、次号に喰い込む大赤字に泣いた。今回はせめて二次会分くらい浮かせてよ、と言っているが、前回と同じ結果になることは覚悟している。

「輪」は昭和三十年に創刊した。

詩・創作・批評・絵画の総合誌という建前だったがいつか詩の同人誌ということになってしまった。これは詩を書く同人が圧倒的に多いということだけに過ぎない。創刊号は中村の詩九篇、伊勢田史郎の詩九篇、山本博繁の創作一篇、

貝原六一の装画と、それぞれの持ち味を発揮した。経費節減のため

に（現在でも同じ火の車だが）神戸刑務所で創刊号を刷った。貝原の見事な表紙のカットにグリーン

の題字、うすっぺらな冊子であったが、われわれは大満足であった。ただ苦心してレイアウトした余白に、無惨にも受刑者の好意による、牛や、日の出のカットがべたべた入っていて、がっかりさせられたが、とも角、ぼくの店の得意先であった神戸拘留所の車で、おごそかにわが家に運びこまれた。二号からガリ版に格落ちしたが、ぼくも、伊勢田も、山本も、若さにかまけて夢中で書いた。よきかな、青春。三号から直原弘道、岡見裕輔、灰谷健次郎などが加わり四号で現在の主な同人はほぼ出そろった。あれから二十五年経つ。現在の同人、十六名。世帯は大きくなったが、相も変わらず牛歩は崩さぬ。各々の人生体験は異なるが、あの当時の熱い気持は今も変りはない。白髪頭や、はげた奴や、老眼が、出会えば口角泡をとばし「祭り」の企画に夢中になる。教授や、サラリーマンや、銀行員や、商店主が、まるで子供のように、怒ったり、笑ったりしている。また、たのしからずや、である。

□「輪の会」連絡先

兵庫県東山町二丁目1の4 電話 511-2723 中村まで

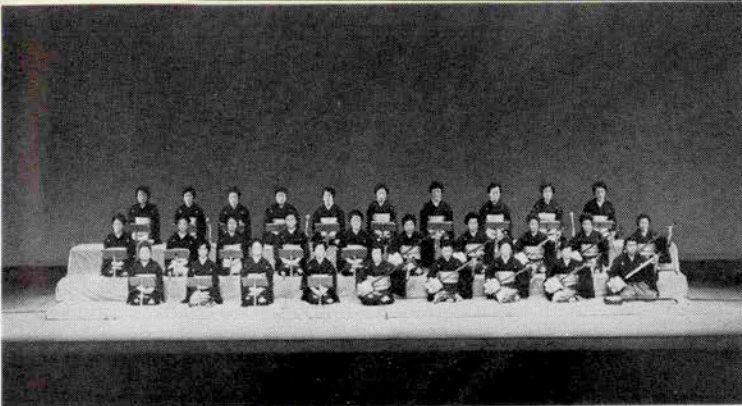
□ある集いその足あと

神戸大和楽の集い

蘭の會

「大和楽」は、昭和八年にこの神戸文化ホールのある大倉山にもゆかりの深い大倉喜七郎氏が、一中節都派の第十一世家元でありましたが、日本音楽の伝統の中から又、西洋音楽の優れた面から有益な要素を摂取し、飽くまで日本人の感性に相応しい音楽作品をと念願して創設した新しい楽派です。

創設者の大倉聰松（喜七郎）氏



9月27日第22回グリーンステージ日本の調べ「大和楽」神戸文化ホールに於いて。
「春・夏・秋・冬」の演奏風景。

は「これからの日本の音楽という意味で、他のものと混同されないための、大和の音楽、大和楽と名づけた次第です。大和楽も邦楽である以上、その基盤を日本の古典に置き、西洋音楽の材料、表現形式をも自由に取り入れ、ここに洋の東西を問わぬ、現代に相応しき新日本音楽を創出せんとする新しい楽派となったのであります」と述べて三味線を伴奏とする歌曲の分野に新風を巻き起こしたのであります。第一期は作詞に創設者の大倉聰松、長田幹彦、笹川臨風、長谷川時雨氏、作曲・唄に岸上きみ（大和美葵）唄に三島儼子（大和美世葵）が輩出し、第二期には、作詞に邦枝完二、作曲・演奏に宮川寿朗（清元栄寿朗）で発展、第三期の現在は、截間庸吉、作詞の田中青滋、唄の大和美世葵、さらに長唄から作曲・演奏の大和久満（長唄・芳村伊十七）と、唄の大和三千世、演奏の大和秀さんらが活躍されて現在の隆盛をみるにいたりしました。

このたび、神戸文化ホールのグリーンステージにとりあげて頂き「大和楽」が、東京だけでなく神戸の地にも大和美世葵・三千世門下生が約三十名揃い関西方面での舞踊界における地方演奏に「大和楽」は、貴重な存在となりそのオリジナル性とハーモニーと、一門

によるチームワークのよきなど邦楽会に新鮮味を持ちこみ、この度の秋の夕べを彩る演奏と舞踊の会が持たれる運びになったわけであります。

プログラムは第一部は「大和楽」の小品「祇園の夜桜」「おせん」「古跡の秋」「四季の花」などを「春・夏・秋・冬」の組曲として演奏。第二部は「三十石夜船」を若手の三味線奏者としてトップの人氣・実力を持つ大和久満が「一丁弾き」を、渋い円熟味を加えた地元神戸の大和三千世の独吟で淀の川瀬を洒落た味わいで唄いました。今、女流としての最高のスケールと美声を持つ家元大和美世葵が十八番「河」を披露。河は隅田川の朝から夜の風物詩を唄う代表的な名曲です。

他に地元舞踊家が大和楽の「あすなろう」「団十郎娘」「お祭り」を踊り幕を閉じました。この創設者ゆかりの大倉山は父君にあたる大倉喜八郎氏が市に寄贈した図書館もある神戸の文化ゾーン半世紀を経た「大和楽」が、ここに花開き、満員の聴衆を集めて印象深い舞台を創り、明日の邦楽への新しい道へ一歩あゆめたのも不思議な「縁」に思えるのです。

△12月3日には国立小劇場で「大和楽演奏会」が開かれます▽蘭の會／神戸市生田区中山手七丁目一三 大和三千世（34） 36

こころ伝えたい人に…

自然の風味のユーハイム。



このマークのお店でお買い求め下さい

本 店 三 宮 生 田 神 社 前 TEL (331) 1694
三 宮 店 三 宮 大 丸 前 TEL (331) 2101
さ ん ち か 店 三 宮 地 下 街 スウィーツタウン内 TEL (391) 3539
西 ド イ ツ 店 フランクフルトゲートハウス内 TEL (0611) 290262

刀剣 古美術



梵鐘（李朝期）三五号 四五〇、〇〇円

毎月20日 無料鑑定
研磨、白サヤ、その他工作
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市生田区元町通 6 丁目 25 番地

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081

ビリケン

竹中

郁

△詩人・絵も▽

前号の「松もむかし」を読まれた荒尾親成さんから古い写真のコピーが二枚送られてきた。一枚は太い松並木を二台の人力車。車夫と婦人客がうつっている。一枚は呉錦堂の邸前に中国革命の父といわれる孫文を中心に、威儀を正した日支両国の紳士たちが並んで撮られた記念写真だ。総勢二十二名、うしろに当時の民国旗が左右に二本立っている。孫文を除いて、私の知っている顔は一つもない。

ところが、解説を読んでおどろいた。前列の左から三人目が、やはり当時の新政客だった戴天仇だという。この戴天仇の甥が、じつは詩人の黄瀛君なのだ。この黄君は東京の文化学院から陸軍士官学校を卒え、その間、日本の現代詩を書いて二冊の詩集をものした。詩人として高村光太郎からも好遇されて、その彫刻のモデルとなって、プロンズの作品が今日どこに残っている。実物を見られた方も多い筈である。

その黄君が神戸を通過して日支の間を往来したわけだ。そのたび国鉄三宮駅（つまり今の元町駅。高架にならない頃の赤レンガの平屋建の小駅

だ。）に迎えて、人力連にのって突堤の汽船まで送っていったりした。陸軍士官の服装をしている黄君、こちらは学生服。この二人をのせた人力車夫は、あんたら二人とも上手な日本語を使いまねんな、と感に耐えてみせた。荷物にかいてある名前や揚げ先の天津をみていたのだろう。二人をシナ人とみたのだ。

戴天仇の若いときの写真をみて、叔父甥の間柄とはいえ、兄弟のようによく似ているのに私はびっくりしたわけだ。

現今、八角堂という俗称に馴らされたが、もとは「移情閣」と、ちゃんと黒地に金文字の扁額が揚がっていた。その西に二階建の呉錦堂邸があって、その又西に「舞子焼」の陶器を売る店、つづいて「かめや」「さかいや」という料亭があった。みな松並木の西国街道に面していた。その八角堂より東にあったのが万亀楼で、今日の阿部邸（赤瓦屋根洋館）と小さい溝をへだてていた。

荒尾さんの手紙では、その万亀楼の位置を確かめた趣旨がかいてあった。前号の文にも書いた



が、私の記憶にまちがいはない。今の阿部邸の前身の、これも洋館だったが、施主は大阪北浜の梅原という株屋だったのもちゃんとおぼえているくらいだ。

とにかく、時の朝鮮総督の寺内ビリケンがお供をつれて、舞子駅からわずか二百米くらいを偉そうに人力車にのってくるのを、たまたま滞留していた私は見た。なぜ「ビリケン」などと人が呼んだか。その顔つきと禿げ頭の形が、当時アメリカで流行した人気もののアイドルにそっくりだったので、新聞や「東京パック」などという雑誌が、寺内陸軍大将をからかっていたのだ。大正四年か五年のころだ。

おなじころ、私は呉錦堂の息子の呉啓藩と親し

孫文



くなつて、かれの上等の自転車を使つてけいこをさせてもらった。彼は当時、楠町七丁目にあった県立神戸商業学校へ通っていた。すこし、ひんがら目で、すこしおどけ者のように見えた。生きていけば、もう八十歳を越している年ごろだが、たしか昭和のはじめに死んだ。

ちよいちよい山陽電車で乗り合せたこともあったが、手を振つてうなづくくらいで、深く話を交わすこともなかった。私の記憶力はそんなに抜群というほどではないが、三回にわたつて種々の物象を書きならべることができたほどのことはある

国鉄舞子駅は長い間、木造の和風駅で雅趣をのこしていたが、十年程前に今のコンクリートの、

いわゆる民衆

駅になつてし

まった。以前

の駅の売店

で、松に因ん

だ「松露」と

いう石衣の菓

子（これは明

石の本町の富

士せんべいで

造った）が小

さい竹のかご

に松葉を敷い

て売られてい

た。よく母に

買ってもらつ

戴天仇

